



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第84号



歌声でつながる～ご近所付き合い～

民生委員・児童委員の活動のひとつに見守り訪問があります。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを定期的に訪問し、日々の困りごとの相談や犯罪被害防止のための見守り役となっています。

その訪問の際に、住民の方からの「昔は隣近所の縁側でお茶を飲みながらよく話をしたが、そういう機会が無くなって寂しい」という想いを受けて、下竹田地区の民生委員・児童委員の方々が中心となり、『懐メロサロン』が5月18日(土)に下竹田公会堂にて開催されました。

この日のために結成された『バンド・演歌隊』のギターやドラムの生演奏に合わせて、マイクを持って熱唱される方やライト式のうちわを振って楽しんでいる方もいて、大盛況でした。

「山小屋の灯をみんなで歌いたい」とリクエストも入り、あっという間に時間が過ぎていきました。参加者からは「次は美空ひばりの曲をやって欲しい」「次も来たい!」という声が多く、次回開催を楽しみにされていました。

平成31年度事業計画/会計予算概要報告等……………1・2
令和元年度

『ふだんのくらしのしあわせ』のために
～福祉教育 鉢盛中学校編～ ……3・4

ボランティアグループの紹介……………5・6

山形村ボランティアセンターからのお知らせ/
福祉なんでも相談/行政心配ごと相談……………7

平成31年度 令和元年度 山形村社会福祉協議会/事業計画概要報告

～誰もが安心して暮らせる福祉の地域をつくるために～

本年3月27日、平成31年第1回山形村社会福祉協議会評議員会が開かれ、事業計画について審議されました。

法人運営部では、業務運営体制の基盤整備の一環として、労務管理等に関する見直し、諸業務の質の向上をはかるための取り組みを進めると共に、第三者委員会の活動の活性化について取り組みます。また、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする法人全体の中期事業計画の策定についても着手します。

法人設立30周年を経過したことを踏まえて、地域の皆さんに参画いただき、将来の法人組織の在り方から検討を試み、社会福祉協議会の会員組織の活性化にも繋がる取り組みを行います。

また、経営・財政基盤の強化につとめ、より適正な組織経営を実践するために、経理会計・管理会計の徹底した運用につとめます。

次に、公益事業部（ぼぼねっと企画）並びに地域防災特設事業部を法人全体の組織の中に併置し、あらゆる場面において住民参加の場と機会を設定し、地域住民の生活支援事業をはじめ地域の防災活動や被災地支援活動に積極的に取り組みます。

地域福祉事業部では、少子・高齢化と共に人口減少社会を迎える中、『共生社会の実現』を目指した地域づくりが求められているため、高齢者のサロン活動等の地域の居場所づくり活動や、『有償在宅福祉サービス たのみま処』等のボランティア活動の推進、認知症高齢者や障害者の権利擁護活動に取り組みます。

また、障害者・障害児とご家族への支援として、現在の居宅介護（ホームヘルプ）、放課後等デイサービスに加えて、行動に障害を持つ方への日常生活支援として行動援護事業を開始しました。

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、地域福祉事業部全体で事業を進めていきます。

介護保険事業部では、利用者が住み慣れた地域で生活できるよう、柔軟な対応ができる小規模多機能型居宅介護事業所すばるの充実と、介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスの提供時間を半日と一日の選択とする見直しをはかります。

職員一人ひとりが利用者の気持ちに寄り添い、医療や他機関との連携を密にし、引き続き地域の皆様に信頼される事業所となるべく、サービスの質の向上につとめます。



平成30年度 助成金交付事業の結果報告

山形村社会福祉協議会の会費または共同募金配分金を財源にして、下記の団体に対し助成金を交付しました。

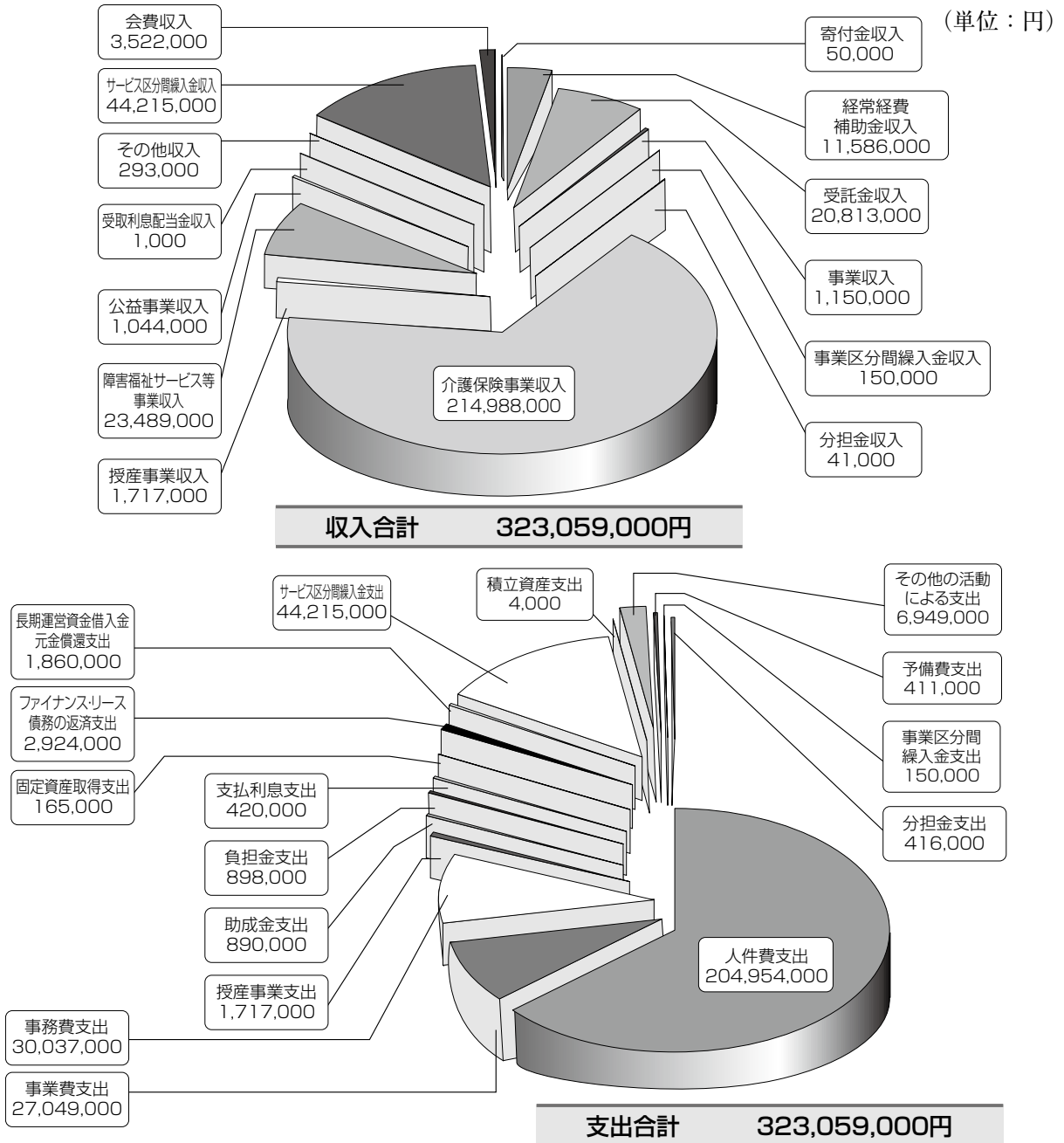
地域福祉団体等助成金	(財源 社協会費)	社会福祉協力校事業助成金	(財源 社協会費)
・山形村遺族会	助成金額 80,000円	・山形小学校	助成金額 50,000円
・山形村知的障害者育成会	助成金額 40,000円	・鉢盛中学校	助成金額 50,000円

指定地域福祉活動支援事業助成金報告		(財源 共同募金)
団体名・グループ名	内 容	助成金額
東日本大震災「山形村からできる支援」を考える会	東日本大震災被災地（岩手県山田町周辺）視察・交流と実施報告会の開催	23,000円
清水高原アートフェスティバル実行委員会	清水高原をアトで楽しむ10日間	23,000円
クレヨンママ	パネルシアターを中心とした公演活動	23,000円
山形村食生活改善推進協議会	食の伝統 文化伝承をする活動	23,000円
フラサークル	ハワイの伝統芸能を学びながら仲間作り、健康作りをし更に福祉活動に活かす	23,000円
こどもコーラスTanpopo	村内の児童による合唱活動（イベントでの発表とそのための練習）	23,000円
薪倶楽部やまがた	不要になった樹木の伐採による薪ストーブへの活用	23,000円
山形村音楽クラブ	施設等を訪問 合唱による交流活動	23,000円
グラウンドゴルフ同好会	高齢者の健康増進と生き甲斐支援及び児童との交流	14,500円
山形村史談会	郷土の歴史・文化を検証し、記録に残し後世に継ぐ事業	23,000円
シニア大山形会	シニアグループの生きがい活動と社会参加	23,000円
中大池健康花づくりの会	公的施設の花壇づくり、地域の仲間づくり	19,000円
上大池老人クラブ	地域高齢者の仲間作り	23,000円
おはなしの会	こどもと大人のためのおはなし会（児童館・図書館）	18,515円
山形村エコライフを考える会	地域資源有効活用のため、ボランティア実践活動	23,000円
健康マージャン塾	高齢化社会で新たな生きがいを健康マージャンを通して寄与する	23,000円
菜の花会	高齢者の皆さんの楽しく集える場を作る	14,500円
暁岳流日本吟道館山形道場	詩吟普及活動	23,000円
自然保護集団 アクアの会	山形村の自然保護及び調査・研究・自然体験活動	23,000円
人形劇サークルてぶくろ	人形劇や手遊びによる交流活動	23,000円
やまがたウインドアンサンブル	楽器演奏による交流活動と地域活性化	23,000円
山形わんぱく広場	親子で育てて食べる食育体験	23,000円
彌磨太鼓	和太鼓で活気あふれる音を村中へ	23,000円
やまごこ保育園	親子ふれあい広場	20,579円
スイートママ	子育てサークル	10,000円
Mommy Smile	未就園児親子の子育て支援	23,000円
山形村手話サークル	手話の学習とろう者との交流	10,000円
スマイル食育	食べる事は生きる事 食育実践 地産地消の親子クッキング	14,000円
子ども食堂実行委員会	子ども食堂 キッチン和つ子	14,000円
合 計		595,094円

会計予算概要報告

～平成31年度/令和元年度の取り組みがスタート～

また、平成31年度/令和元年度の会計予算についても審議され、決定されました。
事業計画に基づき今年度は、収入及び支出それぞれ合計323,059,000円が計上されました。
「平成31年度/令和元年度山形村社会福祉協議会会計収入支出予算」の概要は以下のとおりとなります。



令和元年度 山形村社会福祉協議会 普通会員会費納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民（会員）の皆さんより納入いただく会費を地域福祉事業（活動）の財源とさせていただきます。

今年度も皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

***普通(世帯)会員会費の納入期間 7月1日(月)～7月31日(水)**

***受付時間 9:00～17:30(日曜日を除く)**

***受付場所 社会福祉協議会事務局窓口(保健福祉センターいちいの里内)**

連絡班ごとに納入いただきます。ご協力をお願い申し上げます。

『ふだんのくらしのしあわせ』の

福祉教育は社会福祉協議会が取り組むべき課題のひとつです。なかなか取り組みが難しいこの福祉教育。ありがたいことに数年前から鉢盛中学校よりお声を掛けていただき、私たちはこれを機会に、福祉教育の実践に取り組んでいます。

今年度は「実際に福祉の現場で働いている職員の声を直接、生徒達に聞かせたい」と中学校の先生からの依頼を受け、福祉交流を行う1年生とその保護者を対象に、授業参観の時間を使って福祉交流の事前学習を行いました。

『福祉』ってなあに？』をテーマに、『ふくし』のイメージや『高齢者・障害者と聞いてどんな人を思い浮かべるか』など、ワークシートを使って考えてもらいました。

『ふくし』ってなんだと思う？』という問いかけには、「ボランティア。人を助けること。一人ひとり個性を活かした活動を自由にできる所。助け合ったり協力し合ったりするイメージ。暮らすうえで大切なこと。」など、助け合うイメージという声が多く挙がりました。

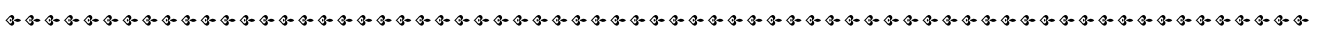
「高齢者や障害者ってどんな人？」という問いかけに、「おじいちゃんやおばあちゃん。普段のことを自分でできない人。何らかの不自由な人。体が不自由だけど何か得意なことがあるそう。車いすの人。」など様々な答えが返ってきました。

生徒たちの意見にもみられるように、一般的に福祉は「高齢者や障害者、困った人のためのもの」と考えがちですが、『福祉』という字には『しあわせ』『さいわい』という意味があります。自分自身も含めて、すべての人に大切なことです。福祉とは、人が生きていく中で『ふだんのくらしのしあわせ』をみんなで創っていくことです。ふだんのくらしのしあわせの主人公は自分自身であり、私自身です。

私たちの暮らしている地域の中にはいろんな人がいます。子ども、高齢者、障害者、外国人、友人、家族、そして自分自身。地域に暮らす全ての人々が、一人ひとりのちがいを認め合い、いろんな人と関わりながら助け合ったり、助けたりしながら生きていく。福祉は特別な人のものではなく、自分自身、私たちにとっても大切なことです。

生徒たちには『誰もが生きがい感に満たされ、幸せに生きられる地域社会を創る担い手となって欲しい。』

私たち社会福祉協議会の職員はそんな想いを胸に、どうしたら『福祉』を身近なものとして感じてもらえるのか、試行錯誤しながら初めて行なった事前学習でした。生徒からは「福祉交流では、思いやりや相手の気持ちを考えて学んでいきたい」「障害者や高齢者はできないことばかりではなくて、自分でもできることがたくさんあることがわかった。ちがうことばかりではないから、みんなと同じように接して交流したい」「“ちがいを認め合う”、“ふだんのくらしのしあわせ”がすごく大切なことだと思った。福祉交流では相手のことを考え、楽しく交流したい」という感想を聞くことができました。今回の事前学習は、福祉交流学習へのきっかけづくりができたかなと手応えを感じています。



ヘッドホンを着用し、聞こえづらさの体験中
「高齢者の人がどんな不便を抱えているのか理解できた」



膝を固定し、足首に重りを付けて前かがみ姿勢の体験
午後のグループはこのキットでラジオ体操をしました

職員より…

「レクリエーションでは工夫したり、利用者さんが聞き取りやすい声量を出して頑張ってくれました！」
「ぜひ、ボランティアとしても参加していただけたら嬉しいです！お待ちしております。」

ために ～福祉教育 鉢盛中学校編～

今回は5月16日(木)に行なった鉢盛中学校1年3組と4組の、春の福祉交流学習をご紹介します。当日は2クラスを分けて、1クラスは午前中に高齢者疑似体験をしてから、午後に利用者さんとの交流。もう1クラスは午前中に交流し、午後に高齢者疑似体験を行うというプログラムで交流学習を行いました。

高齢者疑似体験は、『高齢者疑似体験キット』があり、これは視覚障害・難聴・前かがみ姿勢（腰の曲がり、高齢者と同様の目線、制限された動き）・関節の動きの低減・筋力の低下など、それぞれのパーツごと体験できるものです。

今回はそれに加えて、車椅子体験も取り入れました。生徒が高齢者の身体の変化を体験することで「高齢者って動きづらくて大変なんだ。」と思うのではなく、「高齢になってもできることはあるんだ。こういった工夫があれば一緒に楽しめるんだ。」といった部分を感じ取って欲しいと思い、このプログラムを考えました。

会場に『耳』『目』『肘』『膝・腰』『指先』『車椅子』の6つの体験コーナーを設置しました。

『耳』のコーナーでは、ヘッドホンを装着し、付けたり外したりしながら、実際の交流で高齢者と関わる際には、どの位の声量で会話をすれば良いのか。『目』のコーナーでは、視覚狭窄や黄変が体験できる視覚障害ゴーグルを装着し、様々な大きさや色の文字を読んでもらい、どんな色が見えにくいのか、どのサイズの文字なら読めるのか。『指先』のコーナーでは、軍手を二重にはめて折り紙を折ったり、指先を使った細かな作業を行ったりすることで、指先の感覚や麻痺があった場合でもできることを、班ごとにそれぞれのコーナーを回って体験してもらいました。

午前中に高齢者疑似体験を行なったクラスは、体験して感じたことを活かし、キットを付けた職員を相手に交流会に向けたレクリエーションのリハーサルを、班ごとにしてもらいました。

ある班の生徒たちが考えてきたレクリエーションを試してみると、高齢者役の職員からは「書いてある文字が見えない」との言葉。その言葉を受けた生徒たちはどんな工夫をするのかな？と見てみると、文字を太く大きく書き直し、視覚障害ゴーグルを装着した友達の元へ行き、「この文字見える？」と声をかけていました。私たちの求めていた、福祉の学習に自ら積極的に取り組み、自分たちだけが楽しいレクリエーションではなく、『利用者さんと一緒に楽しむことのできるレクリエーション』を工夫しながら考える生徒の姿を見ることができました。身近な地域で、誰もが一緒に楽しく暮らせる生活を創っていつてくれる、頼もしい存在になってくれそうだなと感じました。

実際の交流では、デイサービスセンターいちいの里やコミュニティハウス建部の里、小規模多機能型居宅介護事業所すばる、障害者就労支援センターすばるに分かれて、生徒たちが考えたレクリエーションで利用者さんとの時間を過ごしました。すごろくやトランプ、クイズ、風船バレーなど、午前中の学習で得た経験を活かし、恥じらいながらも一生懸命に利用者さんに声をかけ、一緒に楽しむ姿を見ることができました。

秋に2回目の福祉交流学習を予定しているため、今回経験したことを活かして成長した生徒の姿を見られることを楽しみに、利用者の皆さんとお待ちしています。



体験を踏まえて、ワークシート作成中…
「どうやれば一緒に楽しめるかなあ〜」



さあ！デイサービスで利用者さんと交流！
「準備、計画してきたが、実際にやってみると上手く伝えることができなかった」
「思っているように進められなかった」
「自分たちが考えたゲームを笑顔で楽しんでくれて良かった」

ボランティアグループ

～共同募金を財源に「指定福祉活動支援助成金」を交付している

山形村音楽クラブ

代表 竹野入美奈子

- *活動開始 昭和44年から活動実施
- *会員数 17名
- *主な活動内容 施設等にての合唱による交流活動

山形村音楽クラブは、まもなく結成50周年を迎えます。練習は毎月第1金曜日と第3土曜日に、ミラ・フード館2階のホール・ミラで午後8時から10時まで行なっています。いつでも、老若男女問わず新会員を募集しています。

主な活動は、11月の『山形村総合文化祭』（トレセン）、3月の『サラダ街道合唱祭』（ミラ・フード館）、4月の『さくらの下のコンサート』に出演して合唱することです。

今は、文化祭に向けて新しい3曲を練習中です。曲を選ぶのも楽しいです。『サラダ街道合唱祭』は、立ち上げから準備、受付、公演、片付けまでをサウンド・ファンタジーの方々と共同で行い、とてもやりがいがあります。

会員仲間は皆仲良く、歌う以外にも、暑気払いと新年会を行います。そこでもまたカラオケで歌います。新年と新年度の練習日には、一品持ち寄りの茶話会もしています。自慢の漬け物、手作りの菓子、果物など、テーブルに並べきれないほどです。

また、依頼されて歌いに行くこともあります。『ピアやまがた』の敬老会、社会福祉協議会の『小規模多機能型居宅介護事業所 すばる』のクリスマス会に招いていただき、利用者の皆さん、職員の皆さんと一緒に歌って楽しい時間を過ごしました。

一日の仕事を終えてから、大急ぎで家族の夕食を作り、時には自分は食べる時間がなく練習に向うこともあります。指揮、ご指導をいただいている先生とピアノ伴奏をお願いしている先生と歌って笑いストレス発散ができます。

是非、私たちと一緒に歌いましょう。新しい方の入会を、お待ちしております。よろしくお願いいたします。



の紹介

団体を紹介しています～

お問い合わせ先
山形村ボランティアセンター
電話 97-2102

スマイル食育

代表 中村眞紀子

- *活動開始 平成30年度から実施
- *会員数 5名
- *主な活動内容 食べる事は生きる事
食育実践 地産地消の親子クッキング

美味しい・楽しい・簡単・学べる！私たちはスマイル食育として多くの人たちに食育の実践をしてほしいと活動しています。スタッフは食育指導士・だしソムリエの資格を持ち活動に活かしています。食育とは健康文化・環境・農業など生活の質すべてに直結する生涯学習です。自分の健康は自分で守る知恵をつけることが目的です。

今はいつでもどこでも誰にでも、ごく簡単に好みに応じた食物がふんだんに手に入り、食欲・味覚を満足させる食生活を楽しむことができるようになりました。しかしその一方で生活習慣病をはじめ、伝統的食文化の崩壊、食料自給力の低下等が問題になっています。

食育は頭で『知識』として理解するだけではなく実際に『知恵』として実践しなければ意味がありません。知る段階から行動に移す段階に入ったと思います。子どもたち、孫たちに食の大切さを伝えるために、まず大人が現在の食の取り巻く環境や食育の大切さをしっかり理解し、日々の生活の中で知恵と知識を伝えることが大切です。

食育は教育の三要素と言われてきた、知育・体育・徳育よりさらに上位に位置付けられるものです。政府はこの食育を国の基本的政策に取り入れ、平成17年7月に施行しました。私たちはこの、教育基本法の趣旨にのっとり、食育活動の担い手となれるように活動しています。

活動の内容の一例を紹介させていただきます。お問い合わせは山形村ボランティアセンターへ。



だしレッスン

「だしをとるのは面倒」

↓ いえいえそれが

簡単においしく、しかもミネラルたっぷり

そして減塩になるお味噌汁！

体験してくれた方はみなさん感動してくれます。

「出張だしレッスン」も依頼があれば行なっています。

親子クッキング

「時間がない・危ない……」

「やらせてあげたくてもなかなかできない」

↓ チャレンジ・実践・できた

保護者から子どもの可能性をみた。

子どもってすごい。

子どもってできるんだ。

と感じてもらい笑顔いっぱいのクッキングです！

いちいの里の調理室で行なっています。





山形村ボランティアセンターからのお知らせ

赤ちゃん用オムツ・粉ミルクを提供していただける方、募集中!



山形村ボランティアセンターでは、生活にお困りのご家庭へ赤ちゃん用のオムツや粉ミルクを提供していただける方を募集しています。

赤ちゃん用オムツ	粉ミルク
テープ式 M～Lサイズ パンツ式 S～ビッグサイズ ※開封済みでも大丈夫ですが、 状態の良い物をお願いします。 	缶、個包装（スティック状など） ※使いかけ以外で賞味期限内の物をお 願いします。 個包装の物はひとつからでも受け付けます。 

ご協力いただける方は、山形村社会福祉協議会の窓口までお持ちください。

持ち込みが難しい方は、こちらから受け取りに伺いますので、ご連絡ください。

◆募集期間 令和元年7月下旬頃まで

※上記以外の期間にご提供いただける方は、
 右記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

山形村社会福祉協議会

【受付】午前8時30分～午後5時30分
 ※土日、祝日はご相談ください。

【住所】山形村4520-1

保健福祉センターいちいの里内

【電話】97-2102（担当：吉田）



夏休み子どもひろばに協力して下さる地域の方を募集中!

夏休み中の児童の居場所づくりとして毎年行なっている『子どもひろば』では、異学年や世代間交流をしながら、参加者の子どもが安全に楽しく遊びや体験ができるよう、手助けや見守りをして下さる方を募集しています。

開催日 8月5日(月)～8月9日(金)

都合のつく日、時間帯だけでもかまいません。

多くの方のご協力をお待ちしています!

山形村社会福祉協議会

地域福祉・ボランティアセンター係

電話 97-2102 FAX 97-2108

担当：西澤・宮田・吉田・鈴木

福祉だんでも相談

一個別無料相談会



介護、障害、年金、相続、子どものことなど、生活に関する疑問・困りごとについて、相談員がなんでもお受けいたします。
 是非ご活用ください。

☆令和元年度 相談日☆

7月16日(火) 8月20日(火) 9月10日(火) 11月12日(火)
 12月10日(火) 1月14日(火) 2月4日(火) 3月10日(火)

◆時間 午後1時30分～午後3時30分(相談1件につき1時間程度)

◆会場 いちいの里すばる 相談室

◆料金 無料

◆お申込み 要予約 お申し込み時に相談概要をお伝えください。

※秘密は厳守いたします。

お申込み・お問い合わせ

山形村社会福祉協議会 総合相談・権利擁護係

電話 97-2102 (担当：小松・鈴木)



行政心配ごと相談



令和元年度 相談日

7月22日(月)	8月20日(火)
9月20日(金)	10月21日(月)
11月19日(火)	12月20日(金)
1月20日(月)	2月20日(木)
3月23日(月)	

相談員の方に家族の事、お金の事、健康の事など様々な相談ができます。

◆時間

午後1時30分～午後3時30分

◆会場

保健福祉センターいちいの里 談話室

まほろば

(社協広報/第84号) 令和元年6月28日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会(山形村保健福祉センターいちいの里内)

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108

ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>

●「まほろば」に掲載されなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。